

TsUMUGI

vol.09 — 2022.07



「緊カテ」 はじめました。

2018年に「脳卒中・循環器病対策基本法」が成立したことをご存じでしょうか？ 本法律が成立する12年も前に「がん対策基本法」が成立し、がんの治療法や予防法、早期発見を国が推進するようになりました。脳卒中と循環器疾患による死亡の合計は、がんのそれに匹敵するにも関わらず、国が循環器疾患の対策に本腰を入れるのに、がんが遅れること12年間も要した訳です。本法律の骨子のひとつに、「救急搬送体制の整備と救急医療の確保」が挙げられています。

言うまでもなく、急性心筋梗塞の治療は時間との勝負であり、1分の違いが患者の命を左右することもあります。急性心筋梗塞の治療において最も重要なことは、発症から再灌流までの総虚血時間をいかに短くするかです。具体的には、患者の来院からバルーン拡張などにより、再灌流を得るまでの時間（Door-to-balloon time）を90分以内にするのが目標となっています。そのためには、緊急カテーテル治療（緊カテ）を24時間実施可能な施設が人口規模に応じて設置されなければなりません。

これまで加賀市医療センターでは、緊カテは平日日中のみの対応としておりました。本法律の理念に基づき、遅ればせながら2022年4月から24時間体制としました。この3ヶ月間足らずの間にも急性冠症候群に対する緊カテを7件施行しています。急性心筋梗塞が疑われる患者は、躊躇せず救急車でご紹介ください。診療情報は後でも構いません。突然発症でない胸痛の場合であっても、冠動脈疾患が少しでも疑われる場合には、早めの紹介をお願い申し上げます。

さて、多くのがんと違い、循環器疾患は一次・二次予防が極めて有効であることが特徴です。危険因



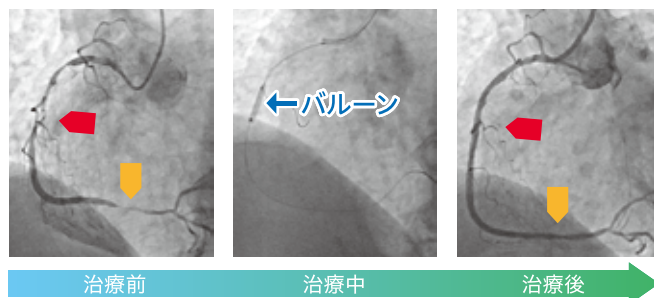
内科部長 川尻 剛照
(かわしり まさあき)

- 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医
- 日本循環器学会循環器専門医・FJCS
- 日本心臓病学会FJCC
- 日本動脈硬化学会評議員・動脈硬化専門医
- 欧州心臓学会FESC

子（高血圧、脂質異常症、糖尿病、喫煙、肥満など）の制御が重要なことは自明です。しかしながら、いずれも無症状である上に、食の嗜好や運動など生活習慣と密接に関係しているため、治療に前向きでない患者さんが多いのも事実です。健診の異常値など放置せず、健康的な生活習慣の教育と適切な薬物療法をお願いいたします。不幸にも心筋梗塞を発症した患者の二次予防には、生涯にわたる薬物療法が必要です。落ち着いた患者さんは診療所へお返しいたしますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

カテーテル治療画像

と の部分にバルーンを拡張し血液が環流しました





産婦人科医長
杉田 元気 (すぎた げんき)

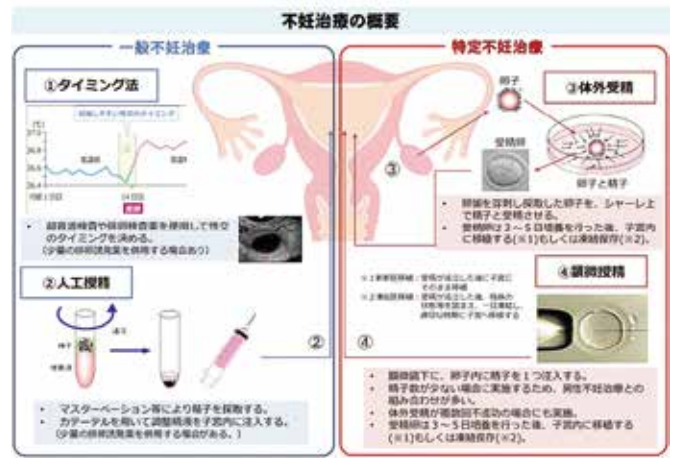
- 日本産婦人科学会専門医
- 日本がん治療認定医 ●機構がん治療認定医

本年4月から不妊治療の保険適用拡大に伴い、人工授精などの「一般不妊治療」、体外受精などの「特定不妊治療」について、新たに健康保険に適用されました。当院では体外受精は取り扱っていませんが、一般不妊治療を実施しています。

日本では、健康な男女が妊娠を希望し、避妊せずに性交を1年間繰り返しても妊娠しない場合、不妊症と診断しています。しかし、月経不順や高齢による卵巣予備能の低下、子宮筋腫などの背景がある場合は、1年間を待たずに速やかに治療を開始することもあります。検査としては、基礎体温の計測、超音波検査、ホルモン検査、子宮卵管造影検査などのほかに、パートナーの精液検査も行っています。

不妊の原因として子宮筋腫や子宮内膜ポリープなどがあるようなら、手術を提案することもあります。精液検査で精子数が少ない場合や運動率が低い場合には、人工授精が有効となります。この方法では精子を洗浄濃縮

することで、運動率の高い元気な精子を確保して子宮内に直接注入することで、妊娠率を上げようとするものです。従来自費診療であった人工授精も保険適用となったことで、患者さん負担額が1回あたり、15,000円～20,000円であったのに対し、自己負担額3割の5,460円に統一されることになりました。妊娠のことでお困りのことがあればいつでもご相談ください。



救急センターについてのご紹介

病院の基本方針として『救急搬送は断らず受け入れます』とし、救急搬送の受け入れを行っております。

今回、救急センターで働くスタッフの熱い思いを伝えるために当院の職員が動画を作成し、病院のホームページに掲載しました。ぜひ一度ご覧いただくと嬉しいです。

今後も地域の
中核病院として
安心できる
急性期医療体制の
提供を目指します。



加賀市医療センターホームページ内『動画＆デジタルパンフレット』の『5分で分かる! 救急センターの魅力』をご覧ください。



日本医療機能評価機構より認定を受けました

加賀市医療センターは2021年3月に審査を受け、公益財団法人 日本医療機能評価機構による病院機能評価において、本年6月3日付けで認定されました。

今後もより良い医療機関を目指し、地域の皆様のご意見を伺いながら病院の質改善活動に取り組んでいきます。

